

令和3年度授業改善推進プラン

清瀬市立清瀬第二中学校第1学年

	授業における課題や学力調査から見えた課題	授業改善のための具体策	成果と課題(年度末)
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習の習慣がついていない生徒が多く、漢字に対して拒否反応を示す生徒も少なくない。</li> <li>・文章を書くことが苦手な生徒も多い。</li> <li>・音読の苦手な生徒も多く、声も小さい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・帯学習として毎授業の初めに漢字の練習をさせる。</li> <li>・短文を書かせる機会を多く取る。</li> <li>・音読の機会を多くとり、できるだけ自分の音読に自信が持てるように指導する。</li> </ul>	
数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の復習をする生徒が少なく、授業でできたことも時間が経つとできなくなる生徒も多い。</li> <li>・分数の計算や考えの経過を書くことが苦手な生徒も多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎授業の帯学習を通して、復習の機会を増やしていく。また、問題集の提示を細かく行い、取り組む機会を増やす。</li> <li>・毎回の定期考査で分数の計算を出すことや途中経過を書かせる問題を出すことで日々の意識を高めるようにしていく。</li> </ul>	
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一問一答形式の質問に答えることはできるが、説明をさせたり、選択肢を読んで正しいものを選んだりさせると正解することができず知識を応用したり本質を理解したりすることができていない。</li> <li>・漢字を書けない生徒が多く、書く習慣が身につけていない。</li> <li>・絵巻物等の絵やイラストから様子を読み取ることは得意な生徒が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内で演習問題を取り入れたりペアワークをしたりすることで、言葉の意味や出来事の内容を説明する機会をつくり理解を深める。</li> <li>・社会科でしか使わないような用語の難しい漢字などが出てきたときに一度注目をさせ注意を払うようにさせる。</li> <li>・絵やイラストの読み取りを多く行い、実生活に近づけ生活経験から学習を理解できるように工夫</li> </ul>	
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識問題は比較的にできる生徒が多いが、実験の考察や説明問題など理由を書いて説明することが苦手な生徒が多い。</li> <li>・スケッチや実験の模式図なども苦手な生徒が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内で、班でのグループワークなどを通じて、他人へ説明するなどの機会をつくる。</li> <li>・振り返りカードや章末テストなどで、図と文章で説明させる機会をつくる。</li> </ul>	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で学んだ表現のための知識(強弱記号・速度記号・などの諸記号)が歌唱や器楽活動において、声を出すこと、音をなぞることで終わってし舞う生徒が多い。鑑賞分野では少しずつ自分お考えは判断をもって曲について言語で表現できるようになってきたいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱や器楽の活動場面で、生徒に問いかけをし、考えさせる時間を作る。また、グループで考えさせる回数を増やす。</li> </ul>	
美術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート等の基礎的な課題(鉛筆による描写、ポスターからによる色相環の彩色)について、意欲的に取り組む。一方、応用的な課題(平面構成)に知識を活かしきれない生徒もいた。</li> <li>・課題に対する集中力や粘り強さについて、個人差が大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発想力が広がるよう、参考作品や見本を提示し、視覚的刺激を工夫する。「相談タイム」での発問や活動を工夫する。</li> </ul>	
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>①授業規律を定着させる。</li> <li>②基礎体力や基本技能をしっかりと身に付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育係の指示で集団行動ができ、まわりと合わせて活動すること、協働してお互いに高め合えるような授業展開を計画する。</li> <li>・始めに授業のめあて、目標の設定や積極的かつ適切な助言などを行っていく。</li> <li>・運動量を確保するためにも、また生徒主体の活動を確保するためにも、マネジメント(準備・移動・待機)の時間が少ない行動をし授業を行っていく</li> </ul>	
技術・家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活の中で行われている仕事への関心が薄い生徒が多い。</li> <li>・日常生活の中で、まだまだ家族に頼っていることが多く、自分でできることややっていることが少ない。特にものづくりの経験が少なく、基本的な技能の個人差が大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校との連携を図り、技能の定着を図る。</li> <li>・学習のねらいを明確にし、視覚教材を多く取り入れより具体的にわかりやすい授業を展開する。また、長期休業を利用して学習した内容を実践できるような課題を出す。</li> </ul>	
外国語(英語)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導領域を焦点化し、特に話すことの「やり取り」と「発表」の力が伸びた。その一方で「書くこと」について、単語のつづりや英文で誤りが多かった。</li> <li>・「読むこと」について、正確に意味内容が伝わるように音読することができた。その一方で、概要や要点を捉えることに個人差があった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「やり取り」の力を伸ばすために、帯活動として Questions and Answers や chat 活動を取り入れ、知識・技能を伸ばしていく。「書くこと」については、単語テストを定期的に行い、文字と音と意味が一致するように指導を行う。</li> <li>・「読むこと」については、誰が・どうする・何を・どこで・いつを中心に記号化しながら読んでいく指導を行う。</li> </ul>	
道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳的諸価値についての理解を元に、多面的・多角的に考えることができた。その考えを書いて相手に伝えることができたが、話して伝えることに苦手意識をもつ生徒が多かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人生や生活に生きて働く道徳性の育成に向けて、主体的・対話的で深い学びをその手段として活用し、自分の考えを相手に伝える機会を増やしていく。</li> </ul>	
総合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路学習として働くことについての考え方や姿勢について学ぶ機会が少なかった。調べ学習としてタブレットの活用も行うことができなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏季休業中に「身近な人の職業調べ」を行い、職業の内容や職業観について学ぶ機会を設定する。</li> <li>・タブレットを活用し、その職業に就くための資格や免許などについても調べる時間を設定する。</li> </ul>	